

台風・豪雨対策10カ条

=台風・豪雨が近づいたら、これだけはやっておこう！=

台風や豪雨は、予知が難しい地震と違って或る程度、襲来時期や規模を予測することができます。普段から、気象情報に十分注意するとともに、以下のような対策を講じておきましょう。

1 台風や大雨に関する情報を注意深く聴く。
ラジオは必ず携帯を。

2 むやみに外出しない。外出していたら早めに帰宅する。

3 家の周り一周し、飛ばされそうなものは室内に取り込むか、しっかりと固定する。

4 戸や窓の隙間に、ビニールテープを貼る。
雨戸があれば閉める。

5 停電に備えて、懐中電灯やローソクを用意する。
予備の電池も忘れずに。



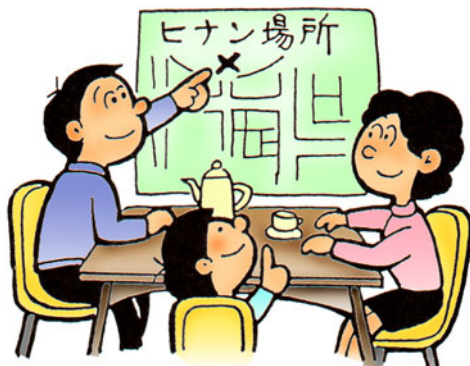
6 いつでも避難できるように、非常持ち出し袋を用意する。
また、断水に備えて、飲料水を数日分確保する

7 浸水に備えて、家財道具をできるだけ高い場所に移動する。
タンスの引き出しや押し入れの下の段のものは、上の段に移す。

8 病人、乳幼児、お年寄りなどは、安全な場所に移動する。

9 ガスの元栓は必ず締める。

10 家族でもう一度、避難場所と避難コースを確認し合う。



避難するときの注意点

①動きやすく安全な服装で

- ヘルメットや防災ずきんで頭を保護しよう。
- 靴はひもで締められる運動靴を。裸足、長靴は厳禁です。

②足下に注意を

- 水面下には、マンホールや側溝などの危険な場所が。
- 長い棒を杖代わりにして、確認しながら歩きましょう。



③単独行動はしない

- 避難するときは2人以上で。
- はぐれないように、ロープで結んで避難しましょう。

④深さに注意

- 歩行可能な水深は男性で約70cm、女性は約50cm。
- 流れが速い場合は、40cm位でも危険。

⑤子どもや高齢者に配慮する

- 高齢者や病人などは背負い、子どもには浮き袋を付けさせて、安全を確保しましょう。